

# + Viva Kango

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学



## 平成十二年 入学式

ときどき顔を見せる春の日差し  
の歓迎を受け

一一〇名の大学生活への門出

四月五日、一一〇人(女子一〇二名、男子八名)の入学生と父母、関係者を迎え、日本赤十字北海道看護大学で、平成十二年度入学式がとりおこなわれました。当日は、道路に残雪がある中、入学生を歓迎するかのよう、春の日差しがときどき顔を見せていました。

入学式場となりました講堂では、入学生と父母、在学生・関係者ら約四〇〇人が集い、入学生全員の名前が紹介された後、松木学長から「基礎的教育は重要。ツイイス・ボーン(人生における回心)を繰り返して、有意義で内面的に豊かな学生生活を送っていただきたい」との式辞がありました。引き続き、日本赤十字学園の近衛忠輝理事



■ 在学生代表



■ 入学学生代表

長(時光直樹常務理事代読)の挨拶、北見市の神田孝次市長、北見工業大学の厚谷郁夫学長のご祝辞、多くの祝電の披露を受けました。

また、在学生を代表して、中村 創くんから「共に一つずつ乗り越えていきましょう」という歓迎のことばがあり、それを受けて、入学生を代表して阿部綾乃さんが、心強い誓いの言葉を述べました。

入学式終了後は、入学記念写真の撮影、父母による後援会の設立総会が行われ、緊張と期待の四月五日は、無事終了しました。



# 新入生歓迎のことば



学長 松木 光子

新しいミレニアム・二〇〇〇の年、北国の春の息吹とともに一〇名の第二期生を迎えました。新入生の皆さん入学おめでとうございます。昨年は一学年だけででしたので、これからにぎやかになると先輩たちも教職員も待ちのぞんでいました。

また、大学生活は高校生活と比べますと自主的活動も広がり、新たな環境の中で多くの人々との出会いがあるでしょう。貴重な人々との接触を深め、自らの責任で自分自身をさらに変化させる機会を招きよせ、学生生活を将来の社会と自分のために有意義な内面的に豊かなものにされることを望みます。

れたことと思います。まずは、学業では目標を見失わず、将来の自立のために物事をみる・やる基盤づくりをしていただきたい。それには、自らが自分の持てるものを活かし作っていく自己啓発の力をつけることこそ重要です。

# 新入生から



平野 瞳

私達は看護婦になる事を前提としてこの大学に入学しました。しかしこれからの社会では単なる看護婦ではいけないと思う。私は一歩リードした看護婦を目指したい。だからこそこの大学でより深く知識と技術を身に付けていきたい。人の命に携わる職業であるので絶対に油断してはいけない。そういう心掛けも



小笠原佑子

四年間で少しでも多く身に付けたいと思います。

私は大学生活の中で、部活動や講義を通して沢山の人と接しながら、学習面だけでなく自身の人間性や感性等を養いたいと思っています。そして、あらゆる事に興味と意欲を持って取り組み、その中で徐々に自分という人間を確立して行きたいと考えています。

これからの大学生活で幾度となくぶつかる困難にも、今のこの気持ちを忘れず、一歩でも目標に近づけるよう頑張ります。

# 新入生歓迎会

四月七日午後三時から、二年生と教職員によって新入生歓迎会が催されました。一〇〇名が新たに加わり、ゲームや食事をした後は、先輩達のロックの演奏に割れんばかりの拍手が鳴りやまず、本当に楽しいひとときを過ごしていました。



晴天にも恵まれ、第二回大学祭が六月二四日(土)～二五日の二日間にわたり開催されました。一日目の夕方からは、学生と教職員

が一同に介し中夜祭が行われました。締めくくりに見事な花火が打ち上げられ、一同感嘆の声を発しました。

二期生を迎え、昨年の大学祭からわずか半年の準備にもかかわらず、本学ならではのプログラムを企画し、一四四三名の市民の参加

# 映画「アイ・ラヴ・ユー」



五月二五日(木)、ろうあ者の方々による映画「アイ・ラヴ・ユー」が北見市民会館を会場に自主公演され、主催者の予想を越える約一〇〇〇人の観客が集まりました。この映画の上映に関

しては、本学ボランティア部がチケット販売等で全面的に協力し、上映大成功の一翼を担いました。

村上秀明部長は「福祉に対する関心の高まりがこのような結果に結びついたと思う。ボランティア部でも手話の勉強を始めています。」と語っている。





シリーズ①  
講座紹介

## 基礎科学講座

その1

### ■齋藤秀哉教授

現在、「魚の油と高血圧の関係」について研究を進めています。魚の油の成分であるドコサヘキサエン酸が血圧を下げる事を見つけました。休日には網走と知床方面に出かけて、流氷や白鳥を見たり美しいオホーツク海を眺めて楽しんでいます。この冬は網走の砕氷船に乗り、沖に出て流氷の上で遊んでいるアザラシとオジロワシを見ました。

### ■大森行雄教授

「神経内分泌の発達に関する研究」について実験を重ねています。旭川医大の実験装置を使っているため、毎週のように北見と旭川を往復しています。趣味は車で、最近、インターネットを通じて掘り出し物のホイールを手に入れました。休日は畑仕事に精を出しこの秋の収穫が待ち遠しい日々です。



齋藤教授・根本助手



大森教授・村林助手

### ■根本昌宏助手

「制癌剤誘起性嘔吐の作用機序の解明と制吐薬の開発」について研究中です。嘔吐の発現と生理活性物質（セロトニンなど）との関連性、新薬の有用性の評価を行っています。余暇は、グルメアールと称してオホーツクのその季節の海の幸、山の幸を探索しています。趣味の写真では、昨年、決定的瞬間！「本大学にかかる虹」を撮影できました。

### ■村林 宏助手

大森教授の指導のもと、「味蕾の神経支配に関する研究」について実験を行ったり文献を集めています。徐々に実験データも取れ始め、最近では、「量より質！」をモットーに日々研究に明け暮れております。まだ独身ですが、飲んで遅く帰ると愛猫が毛を逆立てて怒ります。年も近いので、何か相談したいという学生さんはいつでもお出てください。



フレンズ

を得る事が出来ました。今回は、「手から手へ〜みんなに愛を〜」をテーマに人と人とのふれあいの大切さをアピールしました。昨年にも増して盛況だった「健

康チェック」は、ユニホーム姿の学生が約二〇〇名の来室者に血圧、体脂肪など各種測定を行いました。個人データに基づいた健康の指針が地域住民の本学に対する最も高いニーズの一つと考えられました。「医療を考える会」では、本学学生の発表と現場職員の活発な意見交換が行われました。多くの人が考える必要があるテーマのように思われます。急激に進む高齢社会において「高齢者体験コーナー」は、多くの人が弱者の立場になり、高齢者の身体的特徴を理解できるものと思います。会場に



有珠募金

は、チャリティーバザーと「有珠募金」のコーナーが設けられ、募金・バザー売上げ総額約二万七千円を、日本赤十字社を通じ、有珠山周辺住民の為に寄付しました。

ります。将来、本学学生が医療スタッフのリーダーとして活躍する姿が見えたように思われる二日間でした。



心が癒される演奏をしてくれた音楽部、艶やかな着物姿で「お手前」を披露していた茶道部、今回も凝りに凝った写真部の「JAZZ喫茶」など模擬店も多数出店されていきました。中でも障害者の方々が出店された「フレンズ」は盛況で、まさに本学のユニバーサル化の象徴でした。短い準備期間にもかかわらず企画運営を行った実行委員、展示、模擬店など各種催し物を担当した学生の行動力には頭が下





## 事務局から

### 後援会が設立される

本学の発展と学生の課外活動等を支援することを目的とした日本赤十字北海道看護大学後援会が四月五日に設立されました。

この後援会は、開学まもない本学に後援会を設立しようと、森谷安夫さんを代表とする四名の発起人が、後援会設立のための準備会

を設け、父母の皆様と呼掛けをし設立させたものです。

平成十二年四月五日の入学式の後で、本学講堂で行われた設立総会では、松木学長から「念願していた後援会ができて非常にうれしい、父母の皆様と一緒に大学を大切に育てて行きたい。」との挨拶がありました。

引き続き森谷後援会設立準備会代表から「側面から大学を応援して、学生の皆さんに有意義な学生生活を過ごしていただきたい。」

## 平成12年度入試概況

	募集人数	志願者数	倍率	入学者数
推薦入学	30名	71名	2.4倍	37名
一般入試	70名	298名	4.3倍	73名
計	100名	369名	3.7倍	110名

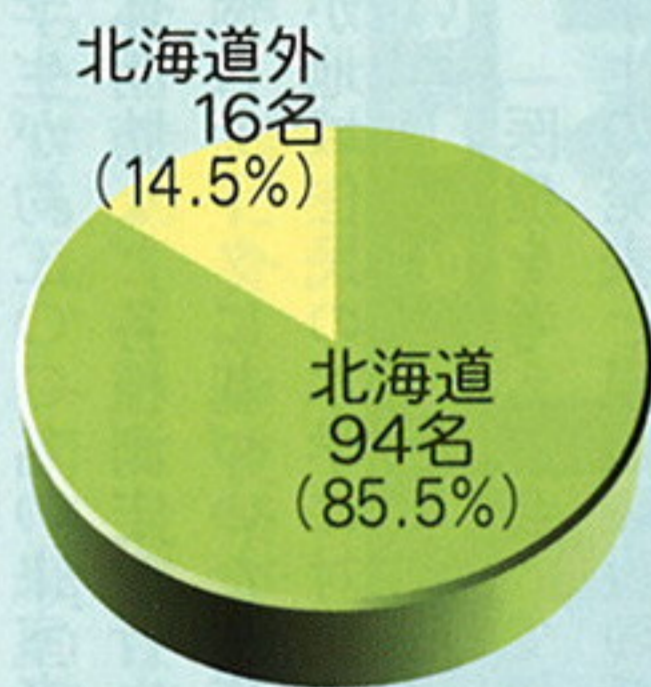
### ■入学者(出身高校) 都道府県別内訳

北海道(94名)・東京都(3名)  
 秋田県(2名)・宮城県(1名)  
 茨城県(1名)・栃木県(1名)  
 埼玉県(1名)・神奈川県(1名)  
 愛知県(1名)・滋賀県(1名)  
 大阪府(1名)・兵庫県(1名)  
 福岡県(1名)・三重県(1名)

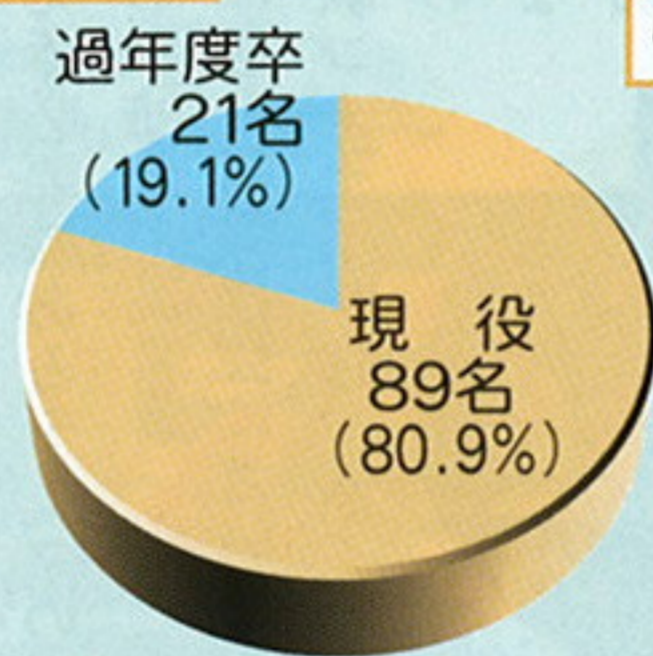
### ■入学者(出身高校) 北海道地域別内訳

網走地域(27名)・石狩地域(18名)  
 上川地域(14名)・渡島地域(10名)  
 釧路地域(10名)・空知地域(5名)  
 胆振地域(5名)・十勝地域(2名)  
 後志地域(1名)・檜山地域(1名)  
 留萌地域(1名)

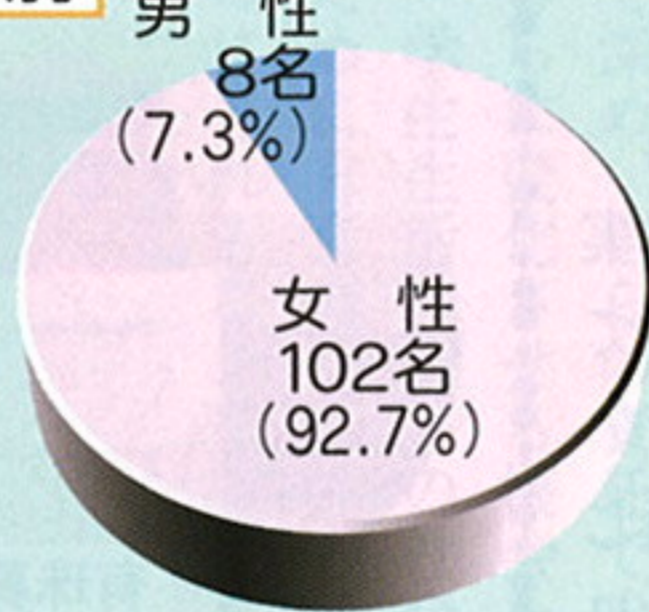
### 出身地別



### 現浪別



### 性別



<http://www.rchokkaido-cn.ac.jp>

との挨拶を頂きました。その後、審議に移り、後援会の規約・予算がそれぞれ承認され役員には、会長に森谷安夫さん、副会長に清水喜宗さん、監事に加城伊佐男さんと横田康雄さんが就任されました。

### ホームページを全面更新

本学では、昨年十二月に「情報システム運営協議会」を設置し学外ホームページの内容を今年六月五日に全面更新致しました。

新しいホームページは、大きく七項目(大学情報・教育内容・キャンパスライフ・入試情報・ホットニュース・学内専用・更新情報)に分かれ、十三年度の入試、奨学金制度そして学生のクラブについても載せております。

皆さん是非アクセスして下さい。ホームページのアドレスは、次のとおりです。

## 図書館から

### 前期定期試験期間にもなる図書の出借停止と臨時開館

試験期間が近づくこと、試験に関する特定分野の図書に貸出が集中し、利用できない学生が生じますので、左記の期間は図書の貸出を停止します。また、試験にともなう臨時開館を実施いたします。

#### ◆貸出停止期間

七月一日～七月二十八日試験終了まで

#### ◆臨時開館

七月二〇日(海の日)、七月二二日(土)、七月二三(日)  
 開館時間  
 九時三〇分～一七時一〇分

### 夏季休業期間中の図書館の開館と長期貸出の実施

夏季休業期間中は次の通り開館時間を短縮するとともに、蔵書点検期間中は休館いたします。また、長期貸出を実施いたします。

#### ◆開館時間短縮期間

七月三十一日～九月一日  
 開館時間  
 九時三〇分～一七時一〇分

#### ◆蔵書点検期間(休館)

八月一日～八月十八日

#### ◆長期貸出

貸出開始日 七月二十八日試験終了後  
 返却日 九月二五日  
 貸出冊数 一人五冊まで

## 編集後記

★開学二年目を迎え学生数も二倍になりました。後輩を迎え二年生はすっかり先輩の風格です。各クラブも新たな勢力を得て活発な活動を開始しています。

★今年の大学祭は大勢の市民や他大学の学生が訪れ昨年にも増して盛況でした。空は見事に晴れているのに半袖では肌寒いという不思議な気候でした。今年の夏は涼しいのでしょうか。いずれにしても北見の夏はこれからです。

★今回からシリーズ「講座紹介」のコーナーを設けてみました。教員の人間的な側面にスポットをあてて紹介していきますのでご期待下さい。

日本赤十字北海道看護大学学内誌

+ Viva Kango

第3号

発行日/2000年7月17日  
 編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1  
 Tel.0157-66-3311 Fax.0157-61-3125  
 mail to:kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp